

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年7月8日 (2010.7.8)

【公表番号】特表2009-538935(P2009-538935A)

【公表日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-045

【出願番号】特願2009-513472(P2009-513472)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/07 (2010.01)

C 1 2 N 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 35/00

C 1 2 N 5/00 E

C 1 2 N 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月24日 (2010.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

(要旨)

本発明は、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する粘液腫ウイルス (M V) に関する。このようなウイルスは、癌細胞を抑制するための方法および医薬の製造において使用され、この方法は、この細胞に有効量の粘液腫ウイルスを投与する工程を包含する。これらのウイルスはまた、癌を有するヒト被験体を処置するための方法および医薬の製造において使用され、この方法は、患者に有効量の粘液腫ウイルスを投与する工程を包含する。本発明はまた、このような粘液腫ウイルスと薬学的に受容可能なキャリアとを含む薬学的組成物、ならびに癌患者を処置するためのこのような粘液腫ウイルスと説明書とを含むキットを提供する。

本発明は、例えば以下の項目を提供する。

(項目 1)

癌細胞を抑制するための方法であって、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する粘液腫ウイルスの有効量を該細胞に投与する工程を包含する、方法。

(項目 2)

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目 1 に記載の方法。

(項目 3)

前記細胞が哺乳動物癌細胞である、項目 1 に記載の方法。

(項目 4)

前記細胞がヒト癌細胞である、項目 3 に記載の方法。

(項目 5)

前記細胞がグリオーム細胞である、項目 4 に記載の方法。

(項目 6)

癌を有するヒト被験体を処置するための方法であって、該患者に、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する粘液腫ウイルスの有効量を投与する工程を包含する、方法。

(項目 7)

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目 6 に記載の方法。

(項目 8)

前記癌がグリオームである、項目 6 に記載の方法。

(項目 9)

癌細胞を抑制するための粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

(項目 1 0)

癌細胞を抑制するための医薬の製造における粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

(項目 1 1)

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目 9 または 1 0 に記載の使用。

(項目 1 2)

前記細胞が哺乳動物癌細胞である、項目 9 または 1 0 に記載の使用。

(項目 1 3)

前記細胞がヒト癌細胞である、項目 1 2 に記載の使用。

(項目 1 4)

前記細胞がグリオーム細胞である、項目 1 3 に記載の使用。

(項目 1 5)

癌を有するヒト被験体を処置するための粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

(項目 1 6)

癌を有するヒト被験体を処置するための医薬の製造における粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

(項目 1 7)

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目 1 5 または 1 6 に記載の使用。

(項目 1 8)

前記癌がグリオームである、項目 1 5 または 1 6 に記載の使用。

(項目 1 9)

癌の処置に使用するための粘液腫ウイルスと薬学的に受容可能なキャリアとを含む薬学的組成物であって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、薬学的組成物。

(項目 2 0)

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目 1 9 に記載の薬学的組成物。

(項目 2 1)

前記癌がグリオームである、項目 1 9 に記載の薬学的組成物。

(項目 2 2)

癌を有する患者を処置するための粘液腫ウイルスと説明書とを含むキットであって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、キット。

(項目 2 3)

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目 2 2 に記載のキット。

【 手続補正 2 】

【 補正対象書類名 】 特許請求の範囲

【 補正対象項目名 】 全文

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 特許請求の範囲 】

【 請求項 1 】

癌細胞を抑制するための組成物であって、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する粘液腫ウイルスの有効量を含む、組成物。

【 請求項 2 】

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項 1 に記載の組成物。

【 請求項 3 】

前記細胞が哺乳動物癌細胞である、請求項 1 に記載の組成物。

【 請求項 4 】

前記細胞がヒト癌細胞である、請求項 3 に記載の組成物。

【 請求項 5 】

前記細胞がグリオーム細胞である、請求項 4 に記載の組成物。

【 請求項 6 】

癌を有するヒト被験体を処置するための組成物であって、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する粘液腫ウイルスの有効量を含む、組成物。

【 請求項 7 】

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項 6 に記載の組成物。

【 請求項 8 】

前記癌がグリオームである、請求項 6 に記載の組成物。

【 請求項 9 】

癌細胞を抑制するための医薬の製造における粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

【請求項 10】

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項 9 に記載の使用。

【請求項 11】

前記細胞が哺乳動物癌細胞である、請求項 9 に記載の使用。

【請求項 12】

前記細胞がヒト癌細胞である、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 13】

前記細胞がグリオーマ細胞である、請求項 12 に記載の使用。

【請求項 14】

癌を有するヒト被験体を処置するための医薬の製造における粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

【請求項 15】

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項 14 に記載の使用。

【請求項 16】

前記癌がグリオーマである、請求項 14 に記載の使用。

【請求項 17】

癌の処置に使用するための粘液腫ウイルスと薬学的に受容可能なキャリアとを含む薬学的組成物であって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、薬学的組成物。

【請求項 18】

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項 17 に記載の薬学的組成物。

【請求項 19】

前記癌がグリオーマである、請求項 17 に記載の薬学的組成物。

【請求項 20】

癌を有する患者を処置するための粘液腫ウイルスと説明書とを含むキットであって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、キット。

【請求項 21】

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 および M - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項 20 に記載のキット。

【請求項 22】

M 0 6 3 および M 1 3 6 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、単離された粘液腫ウイルス。

【請求項 23】

請求項 22 に記載の単離された粘液腫ウイルスであって、該粘液腫ウイルスが前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、粘液腫ウイルス。